

中学2年 社会科「日本の諸地域」

柏市立柏第四中学校 石塚大介

1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

(1) 単元について

本単元では、日本を7つの地方に区分し、それぞれの地域で見られる様々な事象について、これまでに学習してきた地域的特色を捉える視点をもとに追究していくことを目的としている。そこで、各地方における追究課題に対して、様々なメディアから得られる情報を収集し、その情報を取捨選択しながらまとめ、発表する活動を通じて、情報活用能力の育成を図っていきたい。

また、発表に向けて、後述する「先生」という立場で「小学5年生に教える」という条件を付与することで、より丁寧かつ深い学びが期待できると考える。なお、日本地理を学び始める段階として、ターゲットを小学5年生と設定した。

(2) 身に付けたい力

- ・これまでに学んだ地域的特色を捉える視点をを用い、各地方で見られる事象について、ICTを活用しながら情報を収集し、整理する過程を通じて、多角的な考察ができるようにする。
- ・各地方の特色を伝えるための効果的な方法を考え、班員と共有した情報をもとに、スライド等にまとめ、表現する。

(3) 学習計画

学習のゴール:「先生」になって「小学5年生」に各地方の特色を伝える(想定 of 発表)

	時	学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1	・関東を除く6つの地方を1つ1班で担当し、各地方の考察に沿った探究課題の設定及び仮説を考える ○目標を明らかにし、課題解決の計画を立てる
2 情報の収集	2 3 4	・各地方の特色について、本や教科書、インターネットを用いて得られた情報をKeepにまとめ、班員と共有する ○目的に合わせた情報の収集
3 整理・分析	5(本時) 6 7	・Keepに集約した情報をもとに、比較検討し、スライドや原稿、復習問題(Kahoot!)を作成する ○目的に応じて捉えた情報を多角的に考察し、情報を整理する
4 まとめ・表現	8 9 10 11	・作成した原稿及びスライドをもとに発表する ○考えた根拠となる情報を示しながら、まとめた内容を適切に伝える工夫を考え、表現する

5 振り返り改善	12	<ul style="list-style-type: none"> ・発表に対して Forms で自己評価と他己評価を行う ・全体で問題 (Kahoot!) を解き, 授業の復習とする
	13	
	14	
	15	
	16	
	16	



2. 本時について (本時 5/16 時間)

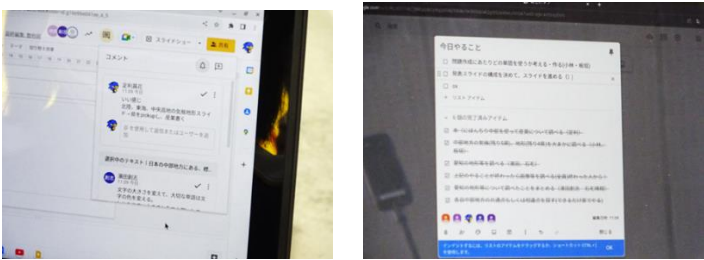
(1) 本時の目標

日本の諸地域において, 各地方で見られる事象やそれに基づく課題を有機的に関連付け, 多面的・多角的に考察し, 表現している。

(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 3分	<p>1 自分たちの班の進捗状況を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に班パネルを貼る。 ・作業のポイントを再確認する。 ・Google Keep の To do リストを確認する。 	<p>●【タブレット端末】</p> <p>班で共有している To do リストを確認させることで, 本時の見通しを持たせる。</p>
		
	<p>🎓 各地方の考察に沿った探究課題を解決し, 発表資料を作成しよう。</p>	
展開 40分	<p>2 【協働】班での調べ学習を進める。</p> <p>① 発表スライド係</p> <p>Google Keep に集約した情報をもとに, Google スライドやスピーカーノート(原稿)を作成する。</p>  <p>② 問題作成係</p> <p>教科書の太字が答えとなるような問題を考え, Kahoot!用に Google スプレッドシートに四択問題を記入するとともに, 関連する画像等もまとめ, できあがったデータを Forms で送信する。</p>	<p>●【タブレット端末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報はすべて班内で「共有」し, 誰でも編集・閲覧できるようにする。

<p>終末 7分</p>	<p>3 【個別】 次回の自分の役割を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の作業内容にコメントをする。 ・コメントを参考にしながら，Google Keep に To do リストを作成する。 	<p>●【タブレット端末】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日作業した内容にコメントを残すことで，他の班員の進捗状況を確認するとともに，そのコメントをもとに自分の活動を振り返り，To do リストを作成することで，次回の自分の役割を明確化する。
		

3 実践の流れ

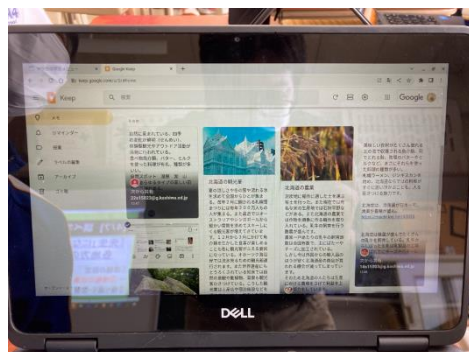
○課題の設定 (1 時間目)

各地方を見る際の考察(視点)はあらかじめ決めた上で，その見方をしたときにどのような課題が考えられるかについて，教科書を見ながら各班で考えた。また，その課題をもとに仮説を立てた。

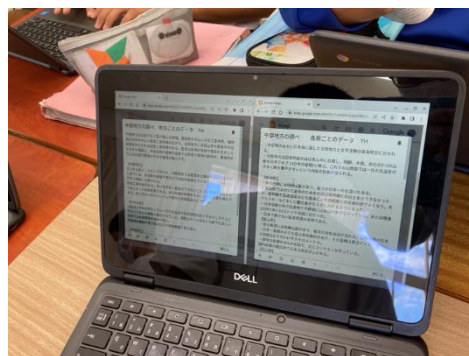
○情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り・改善 (2～16 時間目)

※発表は1 地方 1 時間の計 6 時間，フィードバックに 1 時間

【情報の収集】では，仮説の検証を行うために必要な情報を本や教科書，インターネットを活用して Google Keep にまとめた(写真左)。このときは情報の取捨選択は行わず，調べた内容をそのまま記載することに専念した。合わせて OCR 機能を使い画像情報をテキスト化したり(写真右)，タブレットのカメラを用いて資料写真を保存したり，サイトの URL を記載したりして，作業の効率化を図った。

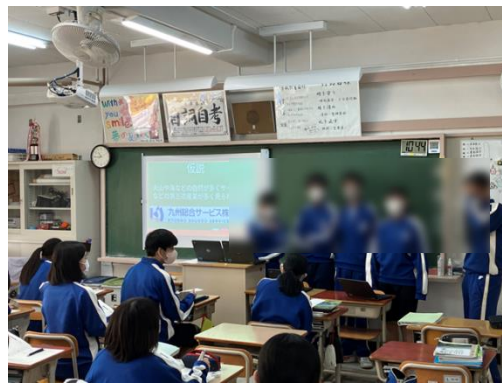
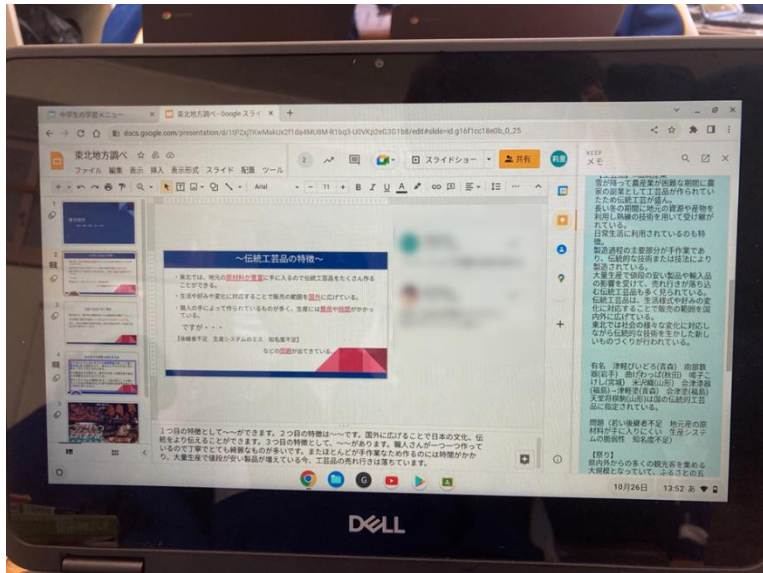


【整理・分析】では，各自が Google Keep に集めた情報を共有し，そこからまとめに使える情報を比較検討しながら取捨選択していった。その際，いらなくなった情報は消すのではなくアーカイブし，あとで見られるようにした。



【まとめ・表現】では、Google Keepの情報を閲覧や挿入しながら、スライドを作成した。また、作成したスライドをもとにスピーカーノートを作成し、発表準備を行った(写真左)。

発表では、タブレット端末をEpson iProjectionで投影し、スクリーンに映るスライドと手元のスピーカーノートを使いながら発表した(写真右)。発表後はKahoot!で作成した問題も投影し、全員でクイズに挑戦することで、知識の定着と学習の意欲づけを行った。



【振り返り・改善】では、発表後に自己評価と他己評価をFormsで送信した。集まった回答をもとにGoogleサイトを作成し、全員が全クラスのスライド・スピーカーノート・評価を見られるようにした。そのサイトを見ながら反省を行い、次回への展望を考えた。



実践を終えて

調べ学習を進めていくうちに、メモの背景色を変えて誰の調べた内容かをわかりやすくしたり、二画面や仮想デスクトップを用いて複数のデータを見比べたり、スライドのコメント機能を使って離れた座席同士の班員とチャットのように連絡を取りながら作業をしたり、スピーカーノートを見やすくするために文字を大きくしたり、色をつけたりと、生徒たちは自分たちで効率の良い方法を考えながら作業をしていた。また、「小学5年生に向けて」という意識のもと、スライドに加えてドキュメントで補助プリントを作ったり、言い回しやスライドをわかりやすくしようという姿が見られたりしたことも印象的だった。他にもGoogle Keepを活用したことにより、従来の調べ学習よりも情報量が圧倒的に増加し、発表時の質問などについて即答できていたり、+αの知識を伝えることができていたりした。毎時間To doリストを作成させたことにより、スムーズに調べ学習に入ることができていた点も良かった。

総じて、本単元において身に付けさせたい「多面的・多角的考察」という点において、1人1台端末を効果的に活用することで、「全員が」活動し、生徒たちは自分たちなりの考察を深めることができおり、このことは十分に情報活用能力の育成につながったと考える。